

4 年研究授業計画案

東二番丁小学校 4 年担任 工藤 慶次郎

1 研究教科 国語科

2 共同研究における目指す子供像

- (1) 理由を明確にして自分なりの思いや考えをもつ。
- (2) 相手の反応を見ながら、自分なりの思いや考えを表現する。
- (3) 共通点・相違点を考えながら伝え合い、自分の考えに生かす。

3 国語科で目指す児童像

根拠となる文や言葉などを明確にすることで、自分の考えや感想をわかりやすく伝えることができ、さらに、友達の見解を聞いて自分の考えを広めたり深めたりすることができる。

4 児童の実態

ほとんどの児童は、日記などで「はじめに」「一つ目は」「二つ目は」「さいごに」といった接続の言葉を使って、順序性を考えながら作文を書くことができている。しかし、自分が一番伝えたいことを絞って、詳しく書いたり効果的に書いたりという段階には至っていない。また、友だちの作文やスピーチに対する感想は、具体的な表現の良さなどに對するものにはなっておらず、自分の表現に生かすというところまでにはなっていない。

5 『小学校学習指導要領』における言語活動の位置づけ

本研究は『小学校学習指導要領』国語科第3学年及び第4学年の内容「A話すこと・聞くこと」(1)エ「話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。」、「B書くこと」(1)カ「書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。」、「C読むこと」(1)イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実との関係を考え、文章を読むこと。」に基づいて行う。

6 研究授業計画

- (1) 目的によって書き表し方を変えることの良さに気づき、友達との意見交換を通してより良い表現にできる授業。
- (2) 話し手が一番伝えたい事柄は何かを考えながら聞き、それを効果的に話すにはどうしたらより良いか伝え合い、自分のスピーチに生かせる授業。

7 授業技術課題

- ・何を考えて答えればよいか、児童が分かりやすい発問を精選する。
- ・児童がお互いの考えを交換しやすい教材や場の設定を工夫する。